

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2003年 3月12日

出願番号
Application Number: 特願2003-066823
[ST. 10/C]: [JP2003-066823]

出願人
Applicant(s): セイコーエプソン株式会社

2003年11月28日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今井 康



Atty. Docket No. ITECP009

出証番号 出証特2003-3098832



【書類名】 特許願

【整理番号】 PNSEA252

【提出日】 平成15年 3月12日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県諏訪市大和3丁目3番5号 セイコーエプソン株式会社内

 【氏名】 内田 康彦

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県松本市白板2丁目4番14号 エー・アイ・ソフト株式会社内

 【氏名】 玉川 博康

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県松本市白板2丁目4番14号 エー・アイ・ソフト株式会社内

 【氏名】 百瀬 悟

【発明者】

 【住所又は居所】 長野県松本市白板2丁目4番14号 エー・アイ・ソフト株式会社内

 【氏名】 下田 和紀

【特許出願人】

 【識別番号】 000002369

 【氏名又は名称】 セイコーエプソン株式会社

【代理人】

 【識別番号】 110000017

 【氏名又は名称】 特許業務法人アイテック国際特許事務所

 【代表者】 伊神 広行

 【電話番号】 052-218-3226

**【手数料の表示】****【予納台帳番号】** 129482**【納付金額】** 21,000円**【提出物件の目録】****【物件名】** 明細書 1**【物件名】** 図面 1**【物件名】** 要約書 1**【包括委任状番号】** 0105216**【プルーフの要否】** 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 印刷ジョブ作成装置および印刷ジョブ作成方法並びにこれらに用いるプログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成装置であって、
印刷ジョブに係る画像を取得する画像取得手段と、
画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷を実行するか否かを設定する撮影時情報印刷設定手段と、
前記撮影時情報印刷設定手段により撮影時情報印刷の実行が設定されたときには前記印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可とし、前記撮影時情報印刷設定手段により撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには前記所定の編集を含めて前記印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行する編集実行手段と、
を備える印刷ジョブ作成装置。

【請求項 2】 前記撮影時情報印刷設定手段は、印刷に用いるテンプレートを選択する際に前記撮影時情報印刷を実行するか否かを設定する手段である請求項 1 記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 3】 前記撮影時情報は、撮影装置と印刷装置とにおける色空間の指定、明暗の設定、彩度の設定、色バランスの設定、撮影シーンの設定の少なくとも一部を含む情報である請求項 1 または 2 記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 4】 前記撮影時情報印刷設定手段は、前記撮影時情報印刷として「PIM(Print Image Matching)」および／または「Exif Print(Exchangeable image file format Print)」を用いる印刷を実行するか否かを設定する手段である請求項 1 ないし 3 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 5】 前記所定の編集は、輪郭のソフト化およびハード化、明るさの設定、コントラストの設定、色の変更、セピア調またはモノクロ調への変更、クロスフィルタの使用の少なくとも一部を含む編集である請求項 1 ないし 4 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 6】 操作者の操作に基づいて複数種類の印刷サービスから一つの

印刷サービスを設定する印刷サービス設定手段を備える請求項 1 ないし 5 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 7】 前記複数種類の印刷サービスは、大伸ばし印刷サービス、ダイジェスト印刷サービス、カレンダー印刷サービス、ポストカード印刷サービス、写真名刺印刷サービス、証明写真印刷サービス、シール印刷サービス、ラベル印刷サービス、アルバム印刷サービスのいずれかを含む請求項 6 記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 8】 操作者の操作に基づいて印刷ジョブの印刷条件を設定する印刷条件設定手段を備える請求項 1 ないし 7 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置。

【請求項 9】 コンピュータを請求項 1 ないし 8 いずれか記載の印刷ジョブ作成装置として機能させるプログラム。

【請求項 10】 印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成方法であって、
(a) 印刷ジョブに係る画像を取得し、
(b) 画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷を実行するか否かを設定し、
(c) 前記撮影時情報印刷の実行が設定されたときには前記印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可とし、前記撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには前記所定の編集を含めて前記印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行する

印刷ジョブ作成方法。

【請求項 11】 コンピュータに請求項 10 記載の印刷ジョブ作成方法の各ステップを各手順として実行させるプログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、印刷ジョブ作成装置および印刷ジョブ作成方法並びにこれらに用いるプログラムに関し、詳しくは、印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成装置および印刷ジョブ作成方法並びにこれらに用いるプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来、この種の印刷ジョブ作成装置としては、画像を指定して編集を行なうと共に編集を施した画像を印刷する印刷ジョブを作成するものが提案されている。例えば、エー・アイ・ソフト株式会社のアプリケーションソフトウェア「デジカメ d e ! ! 同時プリント 6」を一般的なコンピュータにインストールしたものを挙げるができる。このソフトウェアでは、画像に対して、撮影シーンに合わせた補正を行なったり、明るさやコントラストを詳細に調整したり、モノクロ調やセピア調に変換したり、フィルタを作用させたように調整するなどの編集を施すことができる（非特許文献 1 参照）。

【0 0 0 3】

また、写真画像の印刷を高精度に行なうものとして、デジタルカメラとプリンタとのマッチングを行なうものも提案されている。例えば、非特許文献 2 および非特許文献 3 に記載の「PIM(Print Image Matching、セイコーエプソン社の登録商標)」では、デジタルカメラによる撮影時に、色空間の指定や明暗の設定、色バランスの設定、彩度の設定、撮影シーンの設定などについて撮影した写真画像データにコマンドとして付加し、プリンタによりこのコマンドにしたがって印刷することにより、最適な色合いで印刷する。また、非特許文献 4 に記載の「Exif Print(Exchangeable image file format Print、社団法人電子情報技術産業協会（J E I T A）による策定）」では、デジタルカメラで撮影する際に画像データとあわせて撮影時の様々な付属情報を画像ファイルとして保存し、その情報を用いてプリントすることにより高品質な印刷を実現している。

【0 0 0 4】**【非特許文献 1】**

「デジカメ d e ! ! 同時プリント 6 ユーザーズ・マニュアル」，第 1 版，エー・アイ・ソフト株式会社，2 0 0 2 年 7 月，p. 7 0 - 9 7

【非特許文献 2】

セイコーエプソン株式会社、「あなたのデジカメの描写力が、そのまま忠実に写真プリントされる。」、[平成 1 5 年 2 月 2 5 日検索]、インターネット<URL:<http://www.i-love-epson.co.jp/products/pim/pim2-info.htm>>

【非特許文献 3】

セイコーエプソン株式会社、「デジタルカメラからの印刷に最適な P R I N T Image Matching」、[平成 15 年 2 月 25 日検索]、インターネット<URL:http://www.i-love-epson.co.jp/products/printer/inkjet/pim/piml.htm>

【非特許文献 4】

有限責任中間法人カメラ映像機器工業会、「E x i f P r i n t」、[平成 15 年 2 月 25 日検索]、インターネット<URL:http://www.cipa.jp/exifprint/contents_i/0lexif_i.html>

【0005】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、こうした印刷ジョブ作成装置では、画像に対する自由な編集が可能であるため、画像の撮影時の情報を用いても、編集によってはその目的とする高品質な印刷が実現できない場合が生じる。

【0006】

本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷ジョブ作成方法は、高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することを目的の一つとする。また、本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷ジョブ作成方法は、画像の撮影の際の情報を用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することを目的の一つとする。本発明の印刷ジョブ作成装置用のプログラムは、コンピュータを、画像の撮影の際の情報を用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成する印刷ジョブ作成装置として機能させることを目的とする。本発明の印刷ジョブ作成方法用のプログラムは、コンピュータに画像の撮影の際の情報を用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成する印刷ジョブ作成方法の各ステップを各手順として実行させることを目的とする。

【0007】**【課題を解決するための手段およびその作用・効果】**

本発明の印刷ジョブ作成装置および印刷ジョブ作成方法並びにこれらに用いるプログラムは、上述の目的の少なくとも一部を達成するために以下の手段を採っ

た。

【0008】

本発明の印刷ジョブ作成装置は、
印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成装置であって、
印刷ジョブに係る画像を取得する画像取得手段と、
画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷を実行するか否かを設定する撮影時情報印刷設定手段と、
前記撮影時情報印刷設定手段により撮影時情報印刷の実行が設定されたときには前記印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可とし、前記撮影時情報印刷設定手段により撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには前記所定の編集を含めて前記印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行する編集実行手段と、
を備えることを要旨とする。

【0009】

この本発明の印刷ジョブ作成装置では、画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷の実行が設定されたときには取得した印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可として操作者の操作に基づく編集を実行するから、撮影時情報を用いて画像を印刷する高品質な印刷をその後の画像の編集によって損なわれることがない。この結果、画像の撮影の際の情報を用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる。また、撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには所定の編集を含めて取得した印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行するから、画像に対して所望の編集を施すことができる。これらの結果、高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる。

【0010】

こうした本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記撮影時情報印刷設定手段は、印刷に用いるテンプレートを選択する際に前記撮影時情報印刷を実行するか否かを設定する手段であるものとすることもできる。こうすれば、テンプレートの選択の際に撮影時情報印刷の実行を設定することができる。

【0011】

また、本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記撮影時情報は、撮影装置と印刷装置とにおける色空間の指定、明暗の設定、彩度の設定、色バランスの設定、撮影シーンの設定の少なくとも一部を含む情報であるものとすることもできる。

【0012】

さらに、本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記撮影時情報印刷設定手段は、前記撮影時情報印刷として「PIM(Print Image Matching)」および／または「Exif Print(Exchangeable image file format Print)」を用いる印刷を実行するか否かを設定する手段であるものとすることもできる。

【0013】

あるいは、本発明の印刷ジョブ作成装置において、前記所定の編集は、輪郭のソフト化およびハード化、明るさの設定、コントラストの設定、色の変更、セピア調またはモノクロ調への変更、クロスフィルタの使用の少なくとも一部を含む編集であるものとすることもできる。これらの編集は、撮影時情報を用いて画像を印刷する高品質な印刷を損なうおそれが多いことに基づく。

【0014】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、操作者の操作に基づいて複数種類の印刷サービスから一つの印刷サービスを設定する印刷サービス設定手段を備えるものとすることもできる。こうすれば、複数種類の印刷サービスとしての印刷ジョブを容易に作成することができる。ここで、複数種類の印刷サービスとしては、大伸ばし印刷サービス、ダイジェスト印刷サービス、カレンダー印刷サービス、ポストカード印刷サービス、写真名刺印刷サービス、証明写真印刷サービス、シール印刷サービス、ラベル印刷サービス、アルバム印刷サービスなどのうちのいずれかが含まれる。

【0015】

本発明の印刷ジョブ作成装置において、操作者の操作に基づいて印刷ジョブの印刷条件を設定する印刷条件設定手段を備えるものとすることもできる。こうすれば、印刷ジョブにおける印刷条件を容易に設定することができる。

【0016】

本発明の印刷ジョブ作成装置用のプログラムは、コンピュータを上述のいずれかの態様の本発明の印刷ジョブ作成装置、即ち、基本的には、印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成装置であって、印刷ジョブに係る画像を取得する画像取得手段と、画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷を実行するか否かを設定する撮影時情報印刷設定手段と、前記撮影時情報印刷設定手段により撮影時情報印刷の実行が設定されたときには前記印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可とし、前記撮影時情報印刷設定手段により撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには前記所定の編集を含めて前記印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行する編集実行手段と、を備える印刷ジョブ作成装置として機能させることを要旨とする。

【0017】

この本発明の印刷ジョブ作成装置用のプログラムによれば、コンピュータを上述のいずれかの態様の本発明の印刷ジョブ作成装置として機能させるから、本発明の印刷ジョブ作成装置が奏する効果、例えば、画像の撮影の際の情報を用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる効果や高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる効果などと同様な効果を奏することができる。

【0018】

本発明の印刷ジョブ作成方法は、

印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成方法であって、

(a) 印刷ジョブに係る画像を取得し、

(b) 画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷を実行するか否かを設定し、

(c) 前記撮影時情報印刷の実行が設定されたときには前記印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可とし、前記撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには前記所定の編集を含めて前記印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行する

ことを要旨とする。

【0019】

この本発明の印刷ジョブ作成方法によれば、画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷の実行が設定されたときには取得した印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可として操作者の操作に基づく編集を実行するから、撮影時情報を用いて画像を印刷する高品質な印刷をその後の画像の編集によって損なわれることがない。この結果、画像の撮影の際の情報をを用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる。また、撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには所定の編集を含めて取得した印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行するから、画像に対して所望の編集を施すことができる。これらの結果、高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる。

【0020】

本発明の印刷ジョブ作成方法用のプログラムは、コンピュータに上述の本発明の印刷ジョブ作成方法の各ステップ、即ち、（a）印刷ジョブに係る画像を取得するステップと、（b）画像を撮影する際の撮影時情報を用いた撮影時情報印刷を実行するか否かを設定するステップと、（c）前記撮影時情報印刷の実行が設定されたときには前記印刷ジョブに係る画像に対する編集のうち所定の編集を不可とし、前記撮影時情報印刷の実行が設定されなかったときには前記所定の編集を含めて前記印刷ジョブに係る画像に対する編集を可能として操作者の操作に基づく編集を実行するステップと、を各手順として実行させることを要旨とする。

【0021】

この本発明の印刷ジョブ作成方法用のプログラムによれば、コンピュータに上述の本発明の印刷ジョブ作成方法の各ステップを各手順として実行させるから、本発明の印刷ジョブ作成方法が奏する効果、例えば、画像の撮影の際の情報をを用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる効果や高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成することができる効果などと同様な効果を奏することができる。

【0022】**【発明の実施の形態】**

次に、本発明の実施の形態を実施例を用いて説明する。図1は、本発明の一実施例である印刷ジョブ作成装置20を含む印刷ジョブ管理システム10の構成の概略を示す構成図である。実施例の印刷ジョブ管理システム10は、印刷ジョブを作成する複数の印刷ジョブ作成装置20と、大型プリンタ50と、インクジェットプリンタ52とをネットワーク12で接続して構成されている。

【0023】

実施例の印刷ジョブ作成装置20は、アプリケーションソフトウェアとしての図示しない印刷ジョブ作成プログラムと印刷に用いるテンプレート画像などの支援データとがインストールされた一般的なコンピュータとして構成されており、印刷ジョブ作成プログラムが実行されたときに印刷ジョブ作成装置として機能する。印刷ジョブ作成装置20は、カレンダーの作成やポストカードの作成など複数の印刷サービスとしての印刷ジョブを作成すると共に印刷ジョブの実行を指示する装置であり、機能ブロックとして、複数の印刷サービスから印刷ジョブを作成するサービスの設定を受け付けるサービス設定管理部21と、印刷ジョブに用いる画像の登録を管理する画像登録管理部22と、印刷ジョブに用いるテンプレートの設定を管理するテンプレート設定管理部23と、画像のレイアウトを調整や画像に施す編集を管理するレイアウト編集管理部24と、印刷を管理する印刷管理部25と、作成中の印刷ジョブの中断処理を行なうジョブ中断処理部26と、中断された作成中の印刷ジョブ（以下、作成中ジョブという）の作成を再開するジョブ再開処理部27と、作成中ジョブの出力を管理するジョブ出力管理部28と、作成中ジョブの入力を管理するジョブ入力管理部29と、作成中ジョブや印刷実行済みのジョブを用いて新たな作成中ジョブを作成するジョブ複製処理部30とを備える。図1には、紙面の都合上、2台の印刷ジョブ作成装置20を示したが、ネットワーク12には3台以上の印刷ジョブ作成装置20を接続することができる。印刷ジョブ作成装置20の動作の詳細については後述する。

【0024】

大型プリンタ50は、A1サイズまでの高品質なカラー印刷が可能なプリンタとして構成されている。また、インクジェットプリンタ52は、A4サイズまでの高品質なカラー印刷が可能なプリンタとして構成されている。図1には、紙面

の都合上、プリンタとしては大型プリンタ 50 とインクジェットプリンタ 52 の 2 台を示したが、ネットワーク 12 には同一または異なる種類の 3 台以上のプリンタを接続することができる。

【0025】

次に、こうして構成された実施例の印刷ジョブ作成装置 20 の動作について説明する。図 2 は、アプリケーションソフトウェアとしての図示しない印刷ジョブ作成プログラムを起動したときの印刷ジョブ作成装置 20 の画面上に表示されるメニュー画面 60 の一例を示す説明図である。図 2 のメニュー画面 60 には、印刷サービスを選択するためのサービス選択領域 61 と、印刷ジョブを一覧表示するジョブリスト領域 62 とが設けられている。サービス選択領域 61 には、プリントサービスの選択ボタンとして、画像を大判印刷する「大伸ばし」ボタン 61 a, 複数の画像をダイジェストとして印刷する「ダイジェスト」ボタン 61 b, 画像を用いてカレンダーを印刷する「カレンダー」ボタン 61 c, 種々のデザインのテンプレートを用いて画像を印刷する「アイデア」ボタン 61 d, ハガキに画像を印刷する「ポストカード」ボタン 61 e, 写真付きの名刺を印刷する「写真名刺」ボタン 61 f, 証明写真を印刷する「証明写真」ボタン 61 g, 多数の画像のインデックスを印刷する「インデックス」ボタン 61 h, 画像を用いたシールを作成する「シール」ボタン 61 i, CD や DVD などのラベルを作成する「ラベル」61 j など、アルバムサービスの選択ボタンとして、種々のデザインのテンプレートを用いてアルバムを作成する「デザイン」ボタン 61 k, シンプルなテンプレートを用いてアルバムを作成する「シンプル」61 l など、CD 書き込みサービスとして、画像をそのまま CD に書き込む「CD 書き込み（無変換）」ボタン 61 m, 画像のサイズを 1600×1200 にリサイズして CD に書き込む「CD 書き込み（1600×1200）」ボタン 61 n など、が用意されている。ジョブリスト領域 62 には、作成中ジョブについて、その状況、ジョブ ID, サービス名, 受付時間, 更新時間, 用紙サイズ, 部数, 合計枚数, コメントが一覧表示されるようになっている。作成中ジョブやジョブリスト領域 62 の表示については後述する。また、メニュー画面 60 には、ジョブリスト領域 62 の下方に「アプリケーションの終了」ボタン 63 や「環境設定」ボタン 64 も設

けられている。

【0026】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 による印刷ジョブの作成は、図 3 に例示する印刷ジョブ作成処理に基づいて行なわれる。印刷ジョブ作成処理は、まず、印刷サービスの選択を受け付ける処理から始まる（ステップ S100）。印刷サービスの選択は、ユーザがメニュー画面 60 のサービス選択領域 61 からいずれかのサービスボタン 61a～61m を選択することにより行なわれる。印刷ジョブ作成装置 20 のサービス設定管理部 21 は、こうしたメニュー画面 60 の表示や選択されたサービスの選択の受け付け及び選択されたサービスによる印刷ジョブの作成の開始を管理している。

【0027】

印刷サービスが選択されると、実施例の印刷ジョブ作成装置 20 は、図 4 に例示する画像登録画面 70 を表示して、選択された印刷サービスに用いる画像の登録処理を実行する（ステップ S110）。図 4 の例の画像登録画面 70 は、印刷ジョブの作成の工程を示す工程表示領域 71 と、画像の登録処理を行なう画像登録処理領域 72 とに区別されている。工程表示領域 71 には、選択された印刷サービスの種類を示す「サービス種類表示」ボタン 71a や印刷ジョブの作成工程としての「画像登録」ボタン 71b, 「テンプレート選択」ボタン 71c, 「レイアウト編集」ボタン 71d, 「印刷」ボタン 71e, 印刷ジョブの作成を中断してメニュー画面 60 に戻る「メニューに戻る」ボタン 71f が設けられている。画像登録処理領域 72 は、「画像登録」ボタン 71b と連結して表示されており、印刷ジョブの作成工程が画像登録の工程にあることが解るようになっている。

【0028】

この画像登録処理領域 72 には、作業領域 73 が設けられており、この作業領域 73 には、画像が格納されている格納場所（ディレクトリやフォルダ）を選択することによりその格納場所に格納されている画像のサムネイルとファイル名とを一覧表示するための画像選択領域 74 と、登録された画像のサムネイルとファイル名とを一覧表示するための登録画像表示領域 75 とが設けられている。また

、作業領域 73 には、画像選択領域 74 で選択された画像を登録して登録画像表示領域 75 で表示するための「登録」ボタン 76 や画像選択領域 74 に表示されたすべての画像を登録して登録画像表示領域 75 で表示するための「すべて登録」ボタン 77 も設けられている。したがって、ユーザは、画像選択領域 74 の格納場所表示領域 74 a から画像の格納場所を選択し、この選択により画像選択領域 74 の画像表示領域 74 b に表示される画像（選択された格納場所に格納された画像）から所望の画像を選択して「登録」ボタン 76 を操作することにより所望の画像を登録して登録画像表示領域 75 の画像表示領域 75 a に表示することができる。登録画像表示領域 75 には、画像表示領域 75 a で選択した画像の登録を取り消すための「登録削除」ボタン 75 b や登録されたすべての画像の登録を取り消すための「すべて登録削除」ボタン 75 c など設けられている。また、画像登録処理領域 72 には、画像の登録処理を終了して次の作成工程に進むための「次のステップへ」ボタン 72 a や前の作成工程に戻る「前のステップへ」ボタン 72 b も設けられている。なお、画像登録画面 70 における「前のステップへ」ボタン 72 b は、画像登録処理を終了してメニュー画面 60 に戻るためのボタンとなるから、機能的には「メニューに戻る」ボタン 71 f と同一となる。印刷ジョブ作成装置 20 の画像登録管理部 22 は、こうした画像の登録処理を管理している。

【0029】

画像が登録されて「次のステップへ」ボタン 72 a が操作されると、図 5 に例示するテンプレート選択画面 80 を表示して、登録された画像をはめ込むためのテンプレートの選択処理を実行する（ステップ S120）。図 5 の例のテンプレート選択画面 80 は、図 4 に例示した画像登録画面 70 の工程表示領域 71 と同様の工程表示領域 81 と、テンプレートの選択を行なうテンプレート選択処理領域 82 とに区分けされている。このテンプレート選択画面 80 では、工程表示領域 81 の「テンプレート選択」ボタン 81 c がテンプレート選択処理領域 82 と連結されており、印刷ジョブの作成工程がテンプレート選択の工程にあることが解るようになっている。

【0030】

テンプレート選択処理領域 82 には、テンプレートの設定を行なうための設定領域 83 と、テンプレートを選択するためのテンプレート選択領域 84 とが設けられている。設定領域 83 には、テンプレートとして使用する使用レイアウトを直接入力する入力欄やフチなしプリントを設定するためのチェックボックス、「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用してデジタルカメラとプリンタとのイメージマッチングを行なうためのチェックボックスが設けられている。ここで、「Print Image Matching 2」は、デジタルカメラによる撮影時に、色空間の指定や明暗の設定、色バランスの設定、彩度の設定、撮影シーンの設定などについて撮影した写真画像データにコマンドとして付加し、プリンタによりこのコマンドにしたがって印刷することにより、最適な色合いで印刷するものであり、セイコーエプソン株式会社が提案する規格である。なお、「Print Image Matching」はセイコーエプソン株式会社の登録商標である。また「Exif Print (Exchangeable image file Print)」は、デジタルカメラで撮影する際に画像データとあわせて撮影時の様々な付属情報を画像ファイルとして保存し、その情報を用いてプリントすることにより高品質な印刷を実現するものであり、社団法人電子情報技術産業協会 (JEITA) により策定された規格である。こうした「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用する印刷は、いずれもデジタルカメラで撮影した際のデジタルカメラの設定などの情報を使用する印刷となる。実施例では、こうした印刷を撮影時情報を使用した印刷という。

【0031】

テンプレート選択領域 84 には、テンプレートの種類毎にタグ 85a～85f が設けられており、各タグ 85a～85f には、テンプレートのサムネイルとそのファイル名とを一覧表示するためのテンプレート表示領域 86a～86f が設けられている。ユーザは、各タグ 85a～85f から所望のタグを選択すると共に選択したタグのテンプレート表示領域に表示されたテンプレートから所望のテンプレートを選択することにより、テンプレートの選択を行なうことができる。なお、このテンプレートの選択が行なわれると、設定領域 83 の使用レイアウトの入力欄に選択したファイル名が表示されるようになっている。なお、テンプレート選択領域 84 には、用紙サイズを選択するための用紙サイズの選択入力欄も

設けられている。また、テンプレート選択処理領域 82 には、画像登録処理領域 72 と同様に「次のステップへ」ボタン 82a と「前のステップへ」ボタン 82b とが設けられている。テンプレート選択画面 80 では、「前のステップへ」ボタン 82b が操作されると、画像登録画面 70 を表示して印刷ジョブの作成工程における前の工程である画像の登録処理 8 ステップ S110) に戻る。印刷ジョブ作成装置 20 のテンプレート設定管理部 23 は、こうしたテンプレートの選択処理を管理している。

【0032】

テンプレートが選択されて「次のステップへ」ボタン 82a が操作されると、図 6 に例示するレイアウト編集画面 90 を表示して、画像のレイアウトを調整したり編集を施すレイアウト編集処理を実行する（ステップ S130）。図 6 の例のレイアウト編集画面 90 は、図 4 に例示した画像登録画面 70 や図 5 に例示したテンプレート選択画面 80 の工程表示領域 71、81 と同様の工程表示領域 91 と、画像のレイアウトや編集などを行なうためのレイアウト編集処理領域 92 とに区分けされている。このレイアウト編集画面 90 では、工程表示領域 91 の「レイアウト編集」ボタン 91d がレイアウト編集処理領域 92 と連結されており、印刷ジョブの作成工程がレイアウト編集の工程にあることが解るようになっている。

【0033】

レイアウト編集処理領域 92 には、選択されたテンプレートと登録された画像とを組み合わせる画像のレイアウトを行なったり画像の編集を行なうためのレイアウト編集領域 93 と、テンプレートに組み合わせる画像を選択するための画像選択領域 94 と、選択したテンプレートのサムネイルが表示されるサムネイル表示領域 97 とが設けられている。画像選択領域 94 には、登録画像を選択するためのタグ 95a とテキストを書き込むためのタグ 95b とが設けられており、タグ 95a には登録された画像とそのファイル名を一覧表示する画像表示領域 96a が設けられている。また、図示しないが、タグ 95b には、テキストを入力するためのテキスト入力欄が設けられている。画像選択領域 94 には、選択された画像をレイアウト編集領域 93 のテンプレートに配置する「配置」ボタン 94a

や選択された画像をレイアウト編集領域 93 のテンプレートに配置された画像と入れ替える「入れ替え」ボタン 94 b と、選択された 1 枚の画像をテンプレートの複数の領域に配置する「複数配置」ボタン 94 c とが設けられている。したがって、ユーザは、タグ 95 a の画像表示領域 96 a に表示された画像から所望の画像を選択して「配置」ボタン 94 a を操作することにより選択されたテンプレートの領域に順に画像を配置することができる。また、レイアウト編集領域 93 のテンプレートの領域に画像が配置されている状態でタグ 95 a の画像表示領域 96 a に表示された画像から所望の画像を選択して「入れ替え」ボタン 94 b を操作することによりテンプレートの領域の画像を入れ替えることができる。さらに、タグ 95 a の画像表示領域 96 a に表示された画像から所望の画像を選択して「複数配置」ボタン 94 c を操作することによりテンプレートの複数の領域に選択した画像を複数配置することができる。レイアウト編集処理領域 92 には、画像登録画面 70 やテンプレート選択画面 80 と同様に「次のステップへ」ボタン 92 a や「前のステップへ」ボタン 92 b が設けられている。また、レイアウト編集処理領域 92 には、レイアウト編集領域 93 に表示されたテンプレートに組み込まれた画像に編集を加えるための「編集」ボタン 92 c とレイアウト編集領域 93 の表示倍率を変更するための「表示倍率」ボタン 92 d とが設けられている。レイアウト編集領域 93 のテンプレートに配置された画像を選択して「編集」ボタン 92 c を操作すると、プルダウンメニューが表示され、回転、フレームの回転、上下左右の反転、トリミング、型抜き、輪郭をソフト・シャープにする、明るさ・コントラストの設定、色を変える、セピア・モノクロ調に変換、クロスフィルタ、赤目の修正、クローン、自動修正などが選択できるようになっている。印刷ジョブ作成装置 20 のレイアウト編集管理部 24 は、こうした画像のレイアウトや編集処理を管理している。

【0034】

図 5 に例示するテンプレート選択画面 80 で「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用してデジタルカメラとプリンタとのイメージマッチングを行なうためのチェックボックスにチェックマークが入力された状態で「次のステップへ」ボタン 82 a が操作されてレイアウト編集管理部 24 によりレイアウト

編集処理が管理されると、レイアウト編集領域 93 のテンプレートに配置された画像を選択して「編集」ボタン 92c を操作することにより実行することができる編集の一部が制限される。実施例では、トリミング、型抜き、輪郭をソフト・シャープにする、明るさ・コントラストの設定、色を変える、セピア・モノクロ調に変換、クロスフィルタ、赤目の修正、クローン、自動修正についての編集が行なわれないよう制限するものとした。これは、「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用して印刷することにより得られる高品質な印刷を画像の編集により損なうことがないようにするためである。こうした処理は、具体的には、図 7 に例示する編集管理処理により行なわれる。この処理では、まず、テンプレート選択画面 80 により設定された情報を読み込み（ステップ S200）、読み込んだ情報のうち「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用する印刷、即ち撮影時情報を使用する印刷を実行するか否かを判定する（ステップ S210）。この判定は、テンプレート選択画面 80 の設定領域 83 に設けられた「Print Image Matching 2/Exif Print を使用する」のチェックボックスにチェックマークが入力されているか否かにより行なわれる。撮影時印刷を使用すると判定されたときには、上述したようにトリミングや型抜き、輪郭をソフト・シャープにする、明るさ・コントラストの設定、色を変える、セピア・モノクロ調に変換、クロスフィルタ、赤目の修正、クローン、自動修正についての編集ができないように制限して（ステップ S220）、レイアウト編集画面 90 を表示し（ステップ S240）、レイアウト編集処理を開始する（ステップ S250）。一方、撮影時印刷を使用しないと判定されたときには、編集の制限を解除して（ステップ S230）、レイアウト編集画面 90 を表示し（ステップ S240）、レイアウト編集処理を開始する（ステップ S250）。実施例では、編集が制限されると、「編集」ボタン 92c を操作することにより開かれるプルダウンメニューに表示される編集項目のうち制限された項目については薄く表示されて選択できないようになり、編集の制限が解除されると、プルダウンメニューに表示される編集項目のすべてが選択できるようになる。

【0035】

レイアウト編集画面 90 により選択されたテンプレートに画像を組み込み、更

に所望の編集を施して「次のステップへ」ボタン 92 a が操作されると、図 8 に例示する印刷画面 100 を表示して、種々の印刷設定を行なって印刷する印刷処理を実行する（ステップ S140）。図 8 の例の印刷画面 100 は、画像登録画面 70 やテンプレート選択画面 80、レイアウト編集画面 90 の工程表示領域 71, 81, 91 と同様の工程表示領域 101 と、印刷設定と印刷実行とを指示するための印刷処理領域 102 とに区分けされている。この印刷画面 100 では、工程表示領域 101 の「印刷」ボタン 101 e が印刷処理領域 102 と連結されており、印刷ジョブの作成工程が印刷の工程にあることが解るようになっている。

【0036】

印刷処理領域 102 には、テンプレートに組み込まれレイアウトや編集が施されて印刷される画像を表示する印刷画像表示領域 103 と、印刷ジョブの情報を表示するジョブ情報表示領域 104 と、印刷条件を設定する印刷条件設定領域 105 と、プリンタを設定するプリンタ設定領域 106 とが設けられている。ジョブ情報表示領域 104 には、印刷ジョブの情報としてジョブ ID や受付日時、サービス、テンプレート ID などが表示されており、印刷部数を選択入力する部数設定欄も設けられている。印刷条件設定領域 105 には、プリント範囲を設定するためのラジオボタンや設定欄、プリント対象を設定するためのラジオボタン、ページ番号を印刷するか否かを設定するためのラジオボタンが設けられている。プリンタ設定領域 106 には、印刷するプリンタを選択するプリンタ選択欄やカラーマネジメントシステム（CMS）を使用するか否かを表示するためのチェックボックス、印刷領域を設定する領域設定入力欄などが設けられており、用紙サイズや選択したプリンタに設定されている用紙タイプも表示される。ここで、プリンタ設定領域 106 のプリンタ選択欄には、環境設定として印刷サービスと用紙サイズに応じて予め設定されたプリンタがデフォルトとして選択された状態として表示される。また、図 5 に例示するテンプレート選択画面 80 で「Print Image Matching 2/Exif Print を使用する」のチェックボックスにチェックマークが入力されていると、印刷画面 100 では、プリンタ設定領域 106 のカラーマネジメントシステム（CMS）のチェックボックスに自動的にチェックマーク

が入力されて表示され、カラーマネジメントシステムを使用した印刷、即ち撮影時情報を使用した印刷が行なわれることをユーザに知らせる。

【0037】

印刷処理領域102には、「前のステップへ」ボタン102bや印刷の実行を指示する「印刷開始」ボタン102c、印刷の代わりに画像ファイルとして所望のディレクトリやフォルダに書き出す「書き出し」ボタン102dが設けられている。実施例の印刷ジョブ作成装置20における印刷ジョブの作成は、この「印刷開始」ボタン102cや「書き出し」ボタン102dが操作される前までの処理であり、「印刷開始」ボタン102cや「書き出し」ボタン102dの操作は、こうした印刷ジョブの実行となる。なお、「印刷開始」ボタン102cや「書き出し」ボタン102dが操作されると、選択したプリンタで印刷を実行したり画像ファイルの書き出しをして、メニュー画面60の印刷サービスの選択処理に戻る。このとき、図5に例示するテンプレート選択画面80で「Print Image Matching 2/Exif Printを使用する」のチェックボックスにチェックマークが入力されていると、撮影時情報として画像データに付加されたコマンドを選択したプリンタに送信し、撮影時情報を用いた画像の印刷の実行を行なう。なお、図3の印刷ジョブ作成処理では、「印刷開始」ボタン102cや「書き出し」ボタン102dを操作する前の段階で終了するものとして示した。実施例の印刷ジョブ作成装置20の印刷管理部25は、こうした印刷に関する処理を管理している。

【0038】

実施例の印刷ジョブ作成装置20では、この他、ジョブ中断処理部26により作成中の印刷ジョブの作成を中断したり、ジョブ再開処理部27により中断した印刷ジョブの作成を再開することもできる。また、ジョブ出力管理部28により中断した作成中の印刷ジョブをファイル化してハードディスク装置などの外部記憶装置に記憶したり他の印刷ジョブ作成装置20に送信したりすることもできるし、ジョブ入力管理部29によりファイル化された作成中の印刷ジョブを入力することもできる。さらに、ジョブ複製処理部30により作成中の印刷ジョブや実行済みの印刷ジョブを複製して同一または異なる印刷サービスの新規な印刷ジョブの作成を開始することもできる。これらのジョブ中断処理部26やジョブ再開

処理部 2 7, ジョブ出力管理部 2 8, ジョブ入力管理部 2 9, ジョブ複製処理部 3 0 による処理は、本発明の中核をなさないもので、これ以上の詳細な説明は省略する。

【 0 0 3 9 】

以上説明した実施例の印刷ジョブ作成装置 2 0 によれば、テンプレート選択画面 8 0 の設定領域 8 3 に設けられた「Print Image Matching 2 / Exif Print を使用する」のチェックボックスにチェックマークが入力されているときには、レイアウト編集画面 9 0 により行なうことができる画像の編集のうちの一部を制限することにより、「Print Image Matching 2」や「Exif Print」を使用する高品質な印刷が画像の編集により損なわれるのを防止することができる。即ち、撮影時情報を使用した高品質な印刷を行なうことができる印刷ジョブを作成することができる。しかも、テンプレートを設定するテンプレート選択画面 8 0 で「Print Image Matching 2 / Exif Print を使用する」のチェックボックスにチェックマークを入力するだけだから、容易に撮影時情報を用いた印刷を実行することができる。

【 0 0 4 0 】

ここで、実施例の印刷ジョブ作成装置 2 0 は、画像登録画面 7 0 を用いて画像の登録処理を管理する画像登録管理部 2 2 が画像取得手段に相当し、テンプレート選択画面 8 0 を用いてテンプレートの選択や「Print Image Matching 2 / Exif Print を使用する」の設定を管理するテンプレート設定管理部 2 3 が撮影時情報印刷設定手段に相当し、レイアウト編集画面 9 0 を用いて画像のレイアウトや編集を管理するレイアウト編集管理部 2 4 が編集実行手段に相当する。

【 0 0 4 1 】

実施例の印刷ジョブ作成装置 2 0 では、撮影時情報を使用する印刷として「Print Image Matching 2」を使用する印刷や「Exif Print」を使用する印刷を具体的例として用いたが、撮影する際の情報を用いて印刷するものであれば、こうした「Print Image Matching 2」や「Exif Print」以外の規格を用いるものとしてもよい。

【 0 0 4 2 】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 では、レイアウト編集画面 90 で画像を選択した状態で「編集」ボタン 92c を操作したときには、回転、フレームの回転、上下左右の反転、トリミング、型抜き、輪郭をソフト・シャープにする、明るさ・コントラストの設定、色を変える、セピア・モノクロ調に変換、クロスフィルタ、赤目の修正、クローン、自動修正を実行可能な編集項目としてプルダウンメニューに表示するものとしたが、これらの編集項目の一部を実行可能な編集項目としてプルダウンメニューに表示するものとしたり、これら以外の編集項目を実行可能な編集項目としてプルダウンメニューに表示するものとしてもよい。この場合、「Print Image Matching 2/Exif Print を使用する」のチェックボックスにチェックマークが入力されたときには、画像の編集により撮影時情報を損なうおそれがある編集項目についての実行を制限すればよい。

【0043】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 では、「Print Image Matching 2/Exif Print を使用する」のチェックボックスをテンプレートを選択するテンプレート選択画面 80 に設けてテンプレートの選択と共に撮影時情報を用いた印刷の実行を設定するものとしたが、テンプレートの選択と共に撮影時情報を用いた印刷の実行の有無を設定する必要はなく、画像の編集を処理する前であれば如何なるタイミングで撮影時情報を用いた印刷の実行の有無を設定するものとしてもよい。例えば、「Print Image Matching 2/Exif Print を使用する」のチェックボックスを画像登録画面 70 に設けるものとしてもよいし、レイアウト編集画面 90 に設けるものとしてもよい。レイアウト編集画面 90 に設ける場合、ユーザに「編集」ボタン 92c の操作前に「Print Image Matching 2/Exif Print を使用する」のチェックボックスへの入力を行なわせるようにすればよい。

【0044】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 では、メニュー画面 60 から印刷サービスとして、大伸ばし、ダイジェスト、カレンダー、アイデア、ポストカード、写真名刺、証明写真、インデックス、シール、ラベルから選択できるものとしたが、これらのすべての印刷サービスを選択できる必要はなく、これらの印刷サービスの一部から選択できるものとしたり、これらの印刷サービスとは異なる印刷サービ

スから選択できるものとしたり、これらの印刷サービスとは異なる印刷サービスとこれらの印刷サービスとを組み合わせたサービスから選択できるものとしてもよい。

【0045】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 では、印刷サービスの他にアルバムサービスや CD 書き込みサービスを選択することができるものとしたが、こうしたアルバムサービスや CD 書き込みサービスを選択することができないものとしてもよい。また、CD 書き込みサービスに代えて他の記憶媒体、例えばフレキシブルディスクや MD、DVD、フラッシュメモリなどへの書き込みサービスを行なうものとしてもよい。

【0046】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 では、印刷ジョブの作成工程は、印刷サービスの選択した後の工程として、画像の登録処理の工程、テンプレートの選択処理の工程、レイアウトや編集の処理の工程、印刷の工程の 4 つの工程としたが、工程の設定は如何なる設定としてもかまわない。

【0047】

実施例の印刷ジョブ作成装置 20 では、作成中の印刷ジョブの中断や再開のためにジョブ中断処理部 26 とジョブ再開処理部 27 とを備え、作成中の印刷ジョブをファイル化して出力したり入力するためにジョブ出力管理部 28 とジョブ入力管理部 29 とを備え、作成中の印刷ジョブや実行済みの印刷ジョブを複製して同一又は異なる印刷サービスの新規な印刷ジョブを作成するためにジョブ複製処理部 30 を備えるものとしたが、これらの一部または全部を備えないものとしてもかまわない。

【0048】

実施例では、本発明の一実施形態として印刷ジョブ作成装置 20 の形態として説明したが、撮影時情報を用いた印刷の実行の有無により画像に対する編集を制限したりしなかったりして印刷ジョブを作成する印刷ジョブ作成方法の形態としたり、コンピュータを実施例の印刷ジョブ作成装置 20 として機能させるプログラムの形態としてもよい。コンピュータを実施例の印刷ジョブ作成装置 20 とし

て機能させる場合、図3の印刷ジョブ作成処理や図7の編集管理処理の各ステップを各手順として適当なプログラミング言語を用いてプログラムすればよい。

【0049】

以上、本発明の実施の形態について実施例を用いて説明したが、本発明はこうした実施例に何等限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲内において、種々なる形態で実施し得ることは勿論である。

【図面の簡単な説明】

【図1】 印刷ジョブ管理システム10の構成の概略を示す構成図。

【図2】 メニュー画面60の一例を示す説明図。

【図3】 印刷ジョブ作成処理の一例を示すフローチャート。

【図4】 画像登録画面70の一例を示す説明図。

【図5】 テンプレート選択画面80の一例を示す説明図。

【図6】 レイアウト編集画面90の一例を示す説明図。

【図7】 編集管理処理の一例を示すフローチャート。

【図8】 印刷画面100の一例を示す説明図。

【符号の説明】

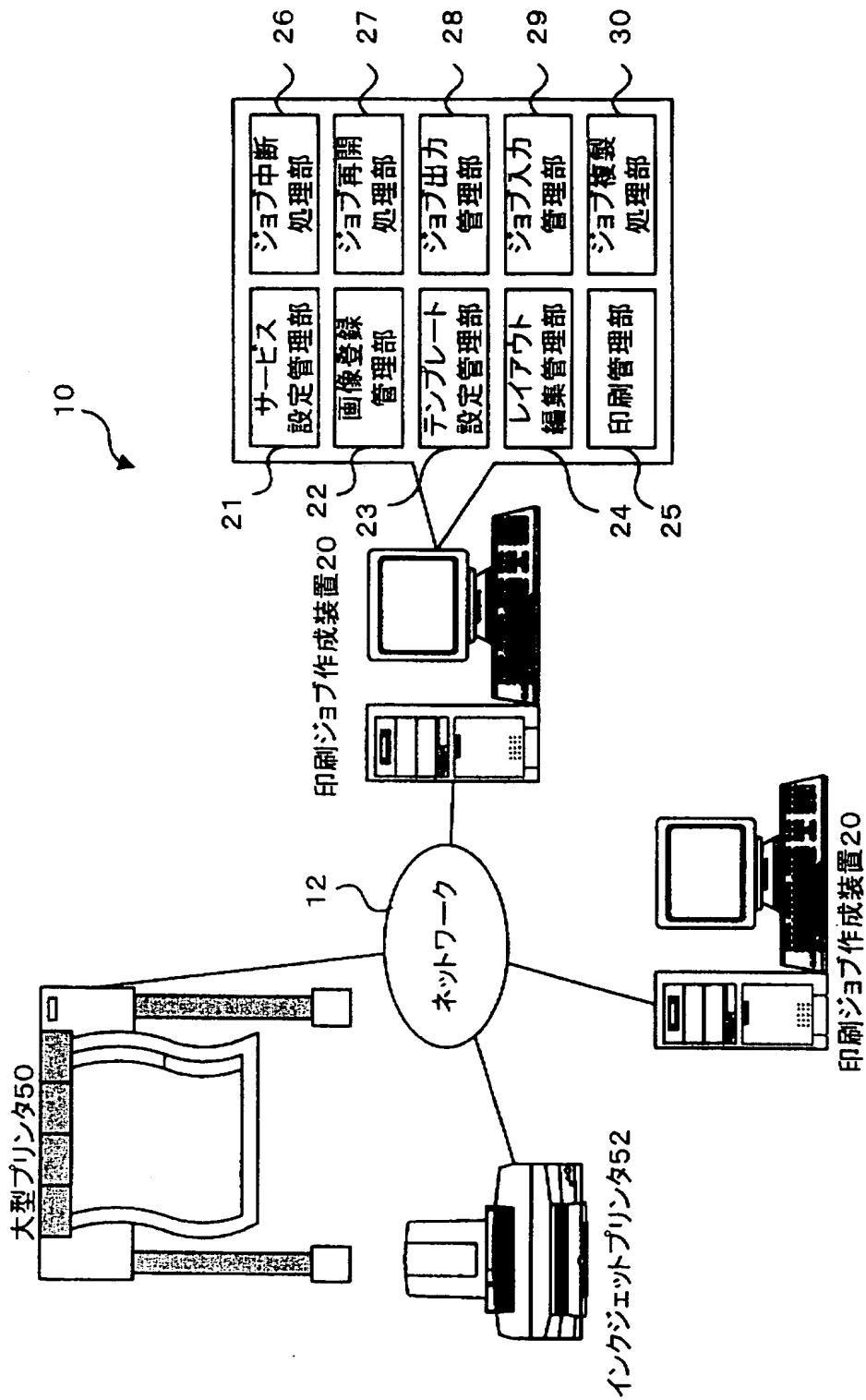
10 印刷ジョブ管理システム、12 ネットワーク、20 印刷ジョブ作成装置、21 サービス設定管理部、22 画像登録管理部、23 テンプレート設定管理部、24 レイアウト編集管理部、25 印刷管理部、26 ジョブ中断処理部、27 ジョブ再開処理部、28 ジョブ出力管理部、29 ジョブ入力管理部、30 ジョブ複製処理部、50 大型プリンタ、52 インクジェットプリンタ、60 メニュー画面、61 サービス選択領域、62 ジョブリスト領域、63 「アプリケーションの終了」ボタン、64 「環境設定」ボタン、70 画像登録画面、71, 81, 91, 101 工程表示領域、71a, 81a, 91a, 101a 「サービス種類表示」ボタン、71b, 81b, 91b, 101b 「画像登録」ボタン、71c, 81c, 91c, 101c 「テンプレート選択」ボタン、71d, 81d, 91d, 101d 「レイアウト編集」ボタン、71e, 81e, 91e, 101e 「印刷」ボタン、71f, 81f, 91f, 101f 「メニューに戻る」ボタン、72 画像登録処理領域

、72 a, 82 a, 92 a 「次のステップへ」ボタン、72 b, 82 b, 92 b, 102 b 「前のステップへ」ボタン、73 作業領域、74 画像選択領域、74 a 格納場所表示領域74 a, 74 b 画像表示領域、75 登録画像表示領域、75 a 画像表示領域、75 b 「登録削除」ボタン、75 c 「すべて登録削除」ボタン、76 「登録」ボタン、77 「すべて登録」ボタン、80 テンプレート選択画面、82 テンプレート選択処理領域、83 設定領域、84 テンプレート選択領域、85 a～85 f タグ、86 a テンプレート表示領域、90 レイアウト編集画面、92 レイアウト編集処理領域、92 c 「編集」ボタン、92 d 「表示倍率」ボタン、93 レイアウト編集領域、94 画像選択領域、94 a 「配置」ボタン、94 b 「入れ替え」ボタン、94 c 「複数配置」ボタン、95 a, 95 b タグ、96 a 画像表示領域、97 サムネイル表示領域、100 印刷画面、102 印刷処理領域、102 c 「印刷開始」ボタン、102 d 「書き出し」ボタン、103 印刷画像表示領域、104 ジョブ情報表示領域、105 印刷条件設定領域、106 プリンタ設定領域。

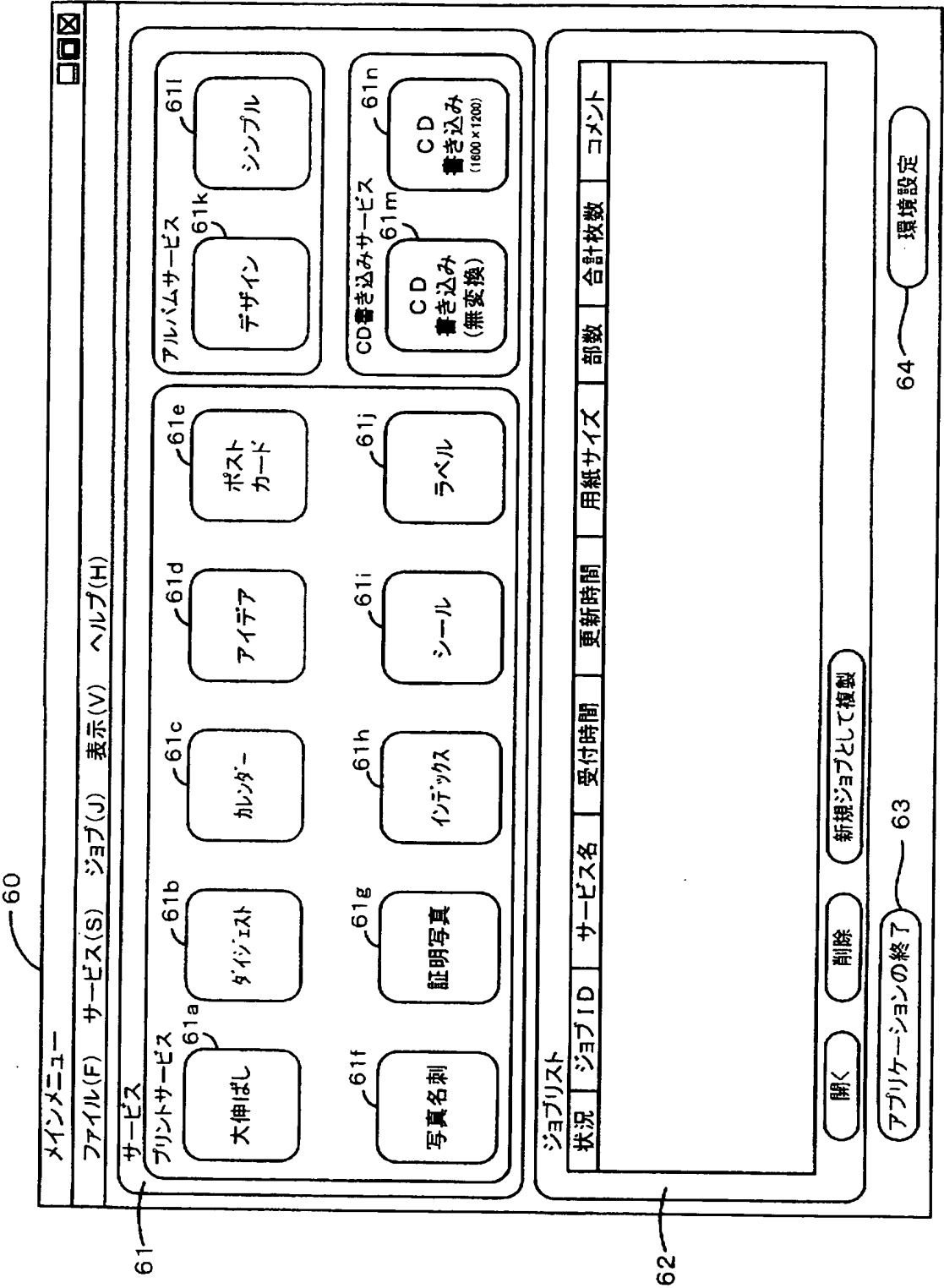
【書類名】

図面

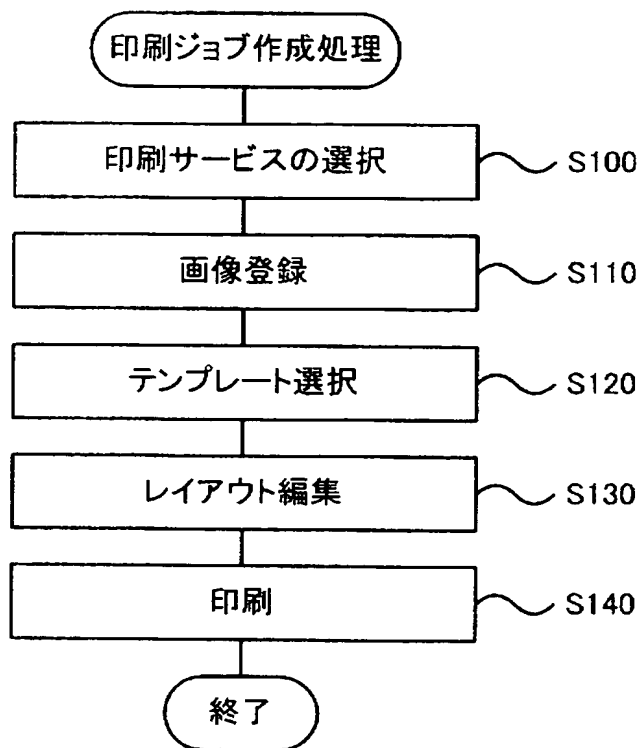
【図 1】



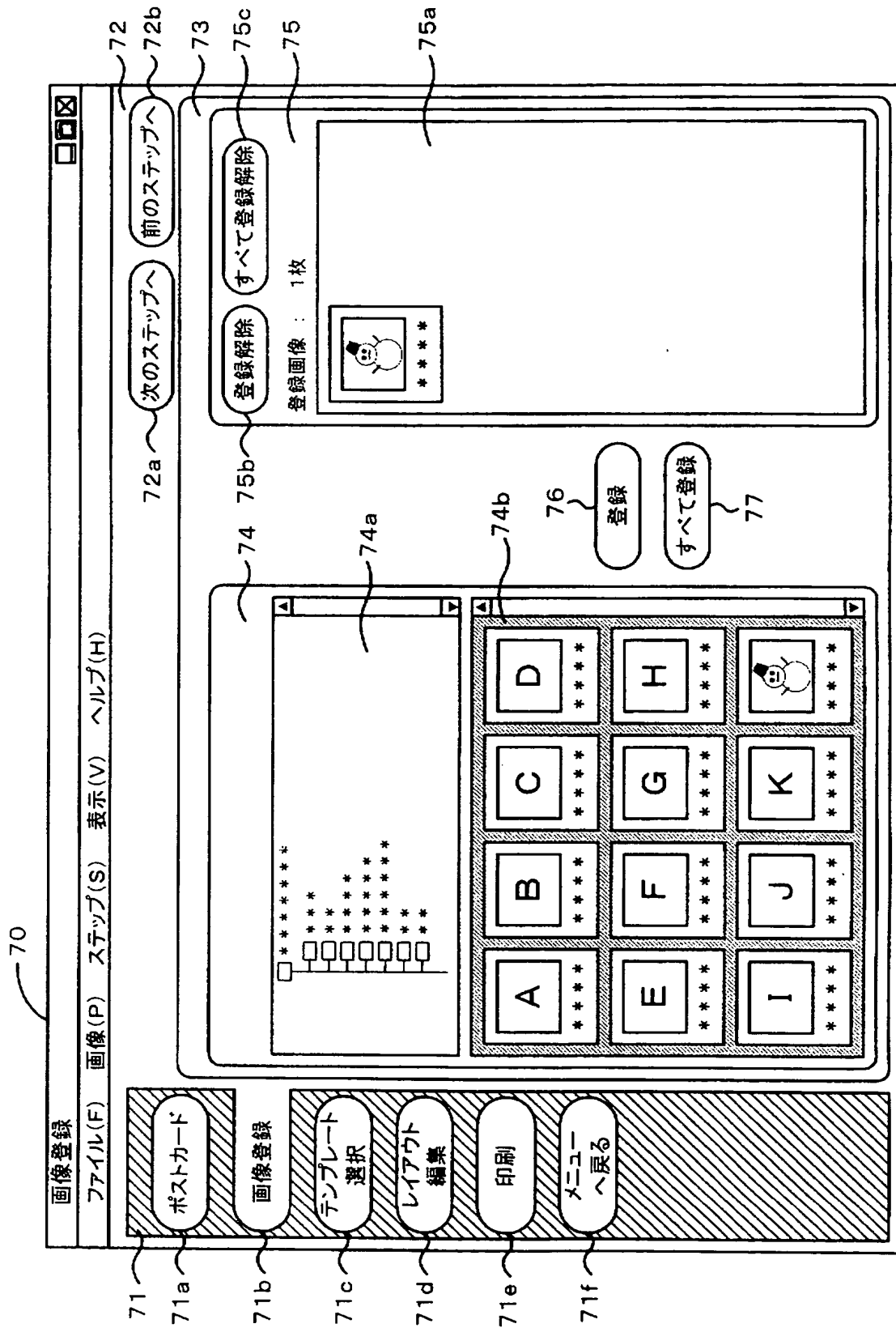
【図 2】



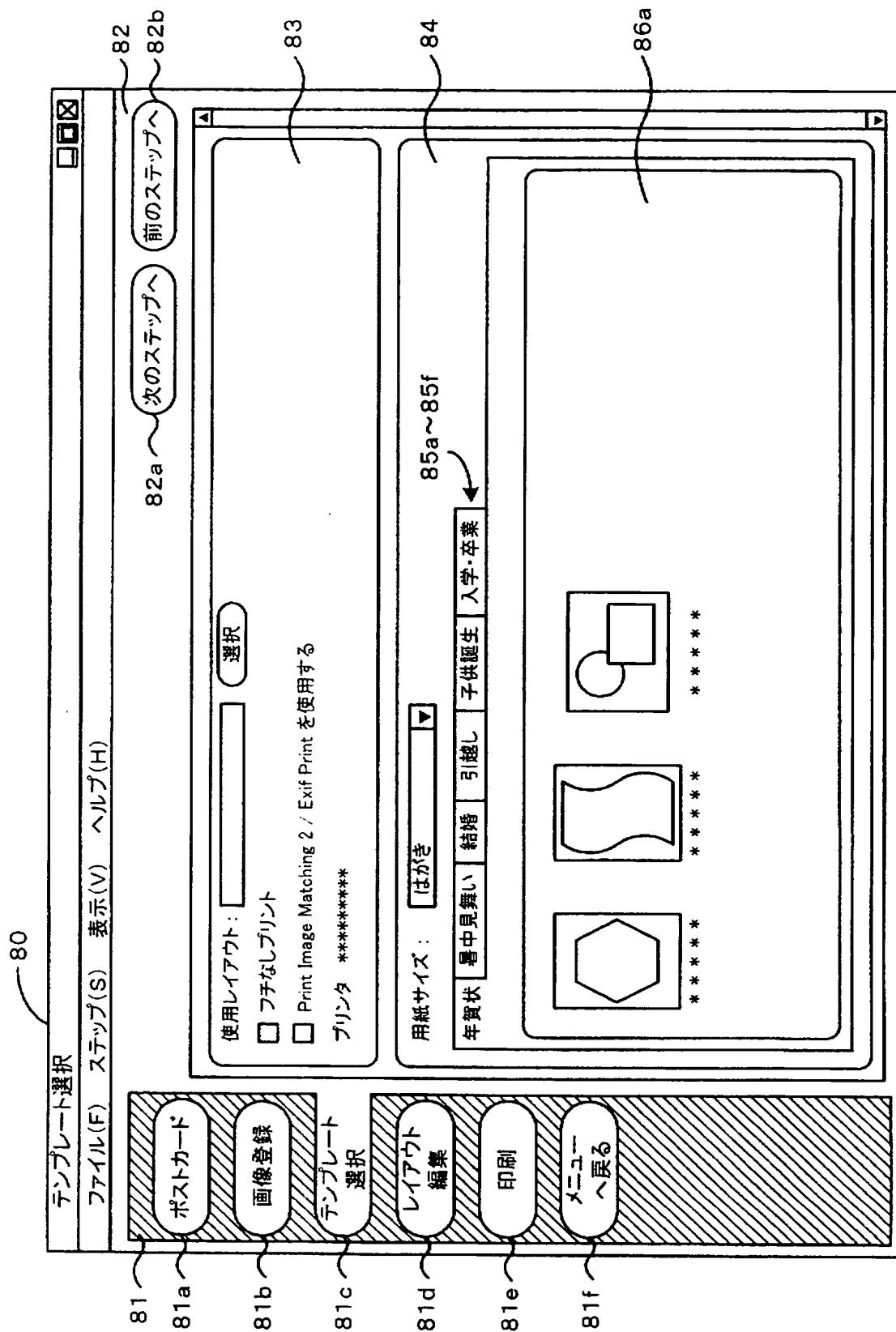
【図 3】



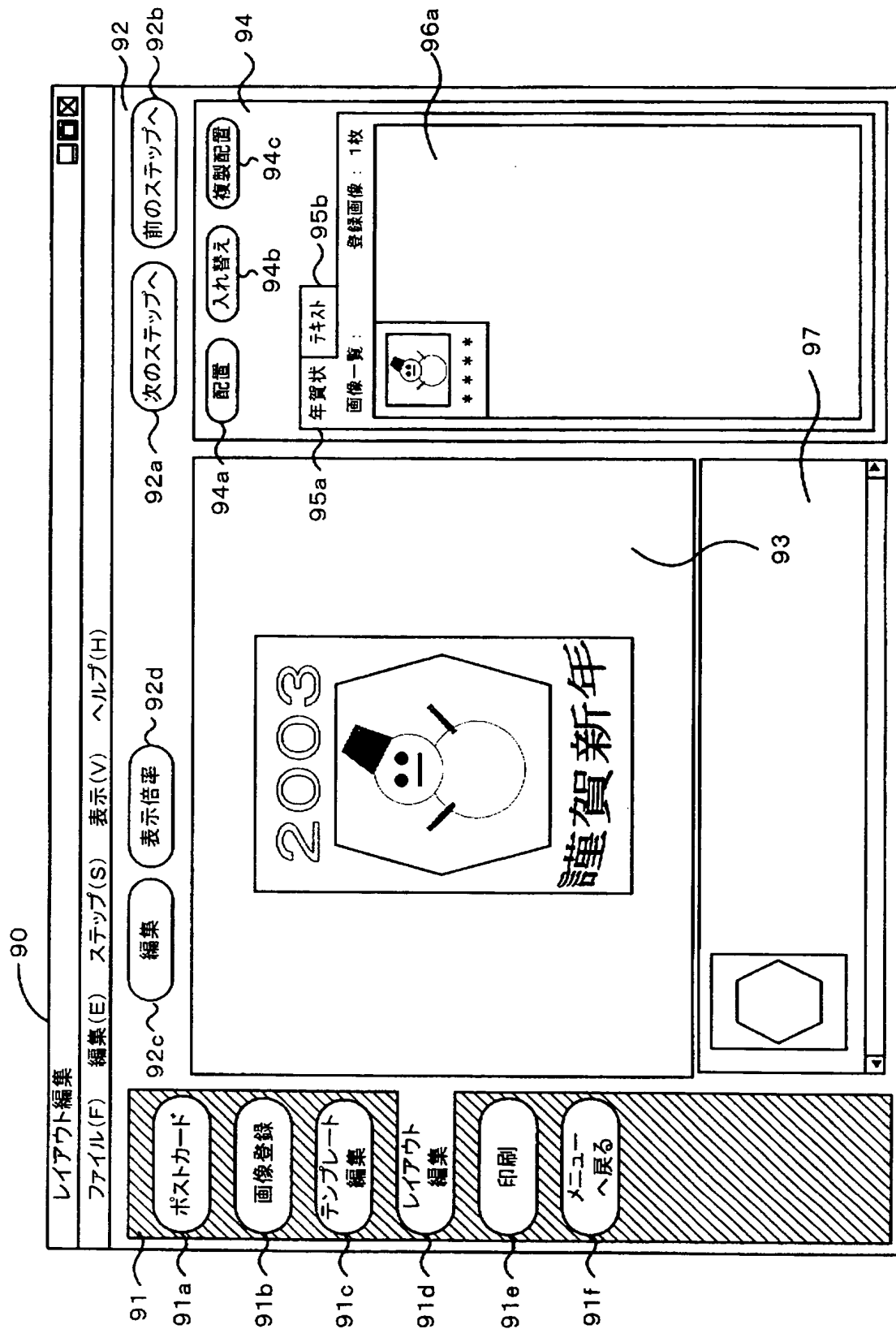
【図 4】



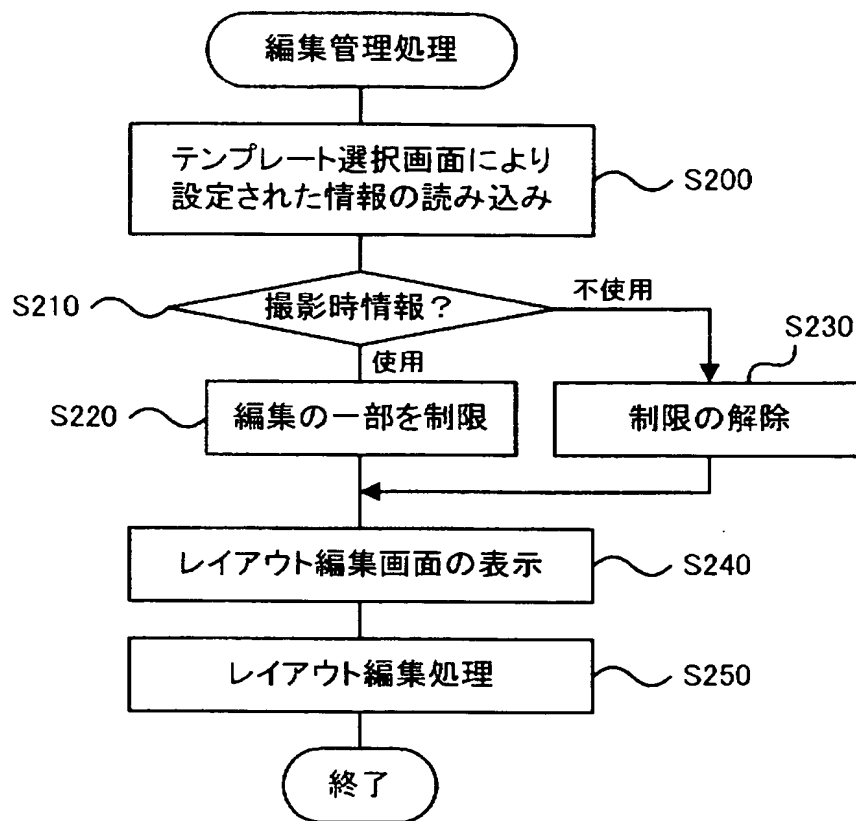
【図 5】



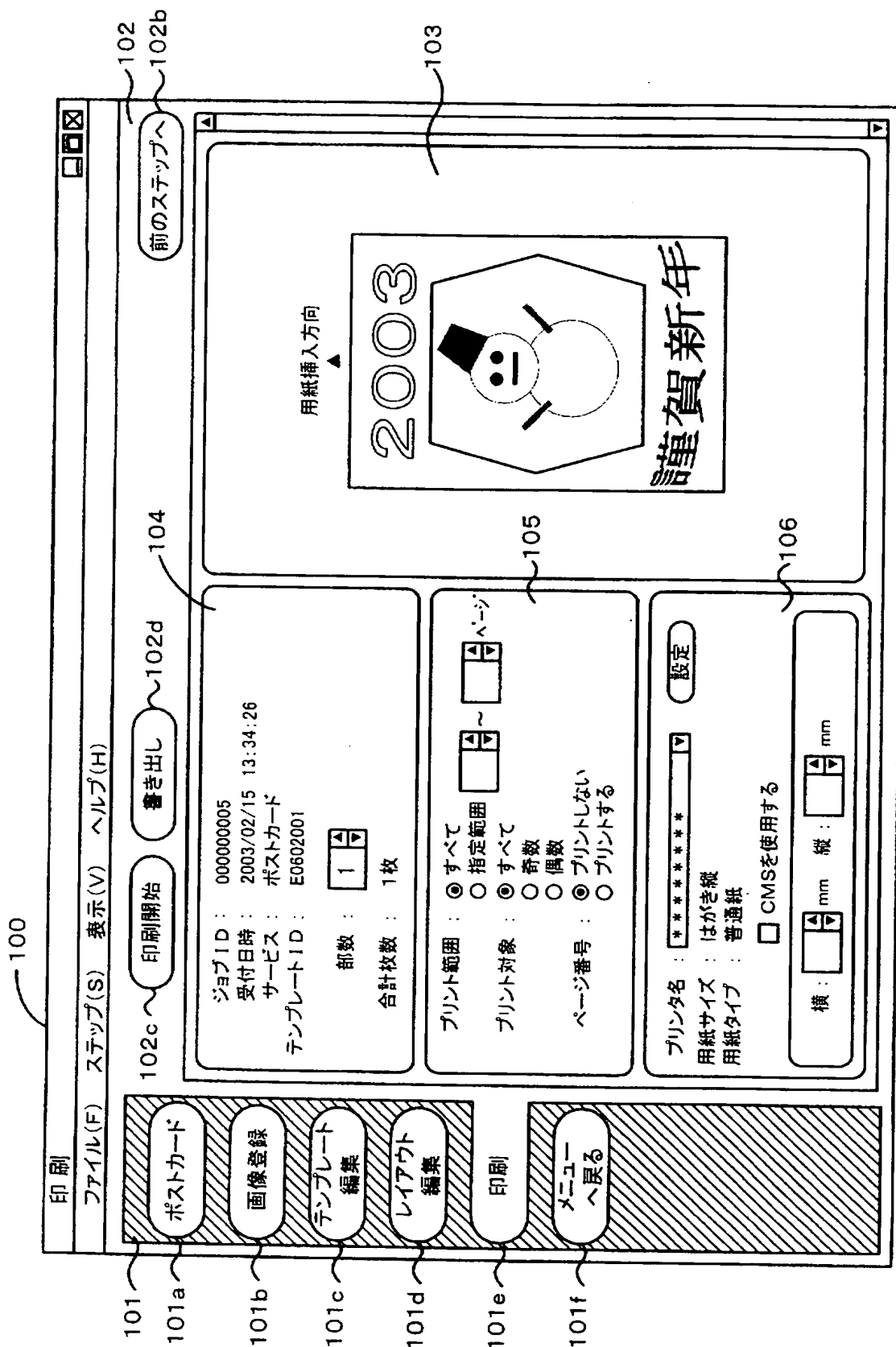
【図 6】



【図 7】



【図 8】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 画像の撮影の際の情報を用いて高品質な印刷を行なう印刷ジョブを容易に作成する。

【解決手段】 印刷ジョブを、印刷サービスの選択処理の工程、画像の登録処理の工程、テンプレートの選択処理の工程、レイアウトや編集の処理の工程、印刷の工程により作成し、テンプレートの選択処理の工程で表示されるテンプレート選択画面に撮影時の情報を用いた印刷を実行するか否かを設定する「Print Image Matching 2 / Exif Printを使用する」のチェックボックスを設ける。そして撮影時情報を用いた印刷を実行すると設定されたときには、レイアウトや編集の処理の工程における画像の編集の一部を制限する（ステップ S 2 2 0）。これにより、撮影時の情報を使用する高品質な印刷が画像の編集により損なわれるのを防止することができると共に印刷ジョブを容易に作成することができる。

【選択図】 図 7

特願 2 0 0 3 - 0 6 6 8 2 3

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 2 3 6 9]

1 . 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 0 日

[変更理由]

新規登録

住 所

東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号

氏 名

セイコーエプソン株式会社